

CS04-2 薬を飲むときの最適条件の探索Ⅱ

○島津 壽子¹, ○佐竹 玲奈¹, 樋口 香菜里¹, 濱田 哲平¹

¹愛媛県立宇和島東高等学校

[目的]

先輩方の研究(水野ら, 2009)によると, 頭痛薬(バファリン A/LION 社)を飲むときの最適条件は, 57°Cの軟水ということが確認された。つまり白湯をさましながら飲むという条件になる。そこで私たちは, 市販されている他の頭痛薬との比較をして, 最適条件を一般化することを目的として本研究に取り組んだ。

[方法]

バファリン A はアスピリン系の頭痛薬であるので, 私たちは比較対象として, イブプロフェン系の「ナロンエース/大正製薬社」と, アセトアミノフェン系の「タイレノール®A/ジョンソン・エンド・ジョンソン社」を用いて研究を行う予定である。まずは頭痛薬の錠剤を各条件の溶液に溶解させ, ろ過後溶解しなかった固体量を測定する。どの条件で最もよく溶けるのかを判定するという方法である。

[仮説]

バファリンと同様の最適条件となる。

[計画]

ナロンエースとタイレノール®A の最適条件を探索した後, バファリン A との比較検証を行う。